



# ごじょうめ

発行／五城目町役場  
編集／文書広報課 ☎ 0188(52)2100代 印刷／五城目印刷



成功させよう  
”59全国高校総体

五城目町会場 …… レスリング

8月1日～4日



溪谷をおおい隠すように両岸にはブナやナラが茂る



(広報紙中にある写真を欲しい方には  
おあげします)

この渓谷には、階段が設置され  
ており、下に降りて行くと、そ  
こは夏の盛りでも別天地。せせらぎ  
の音、かすかな木漏れ日、ひんや  
りした空気は、地上の暑さを忘れ  
させてくれます。

馬場目川の上流一帯は国有林で、  
山々の尾根を境界として、秋田市  
と上小阿仁村に接しています。そ  
して馬場目川は、奥深い沢々に分  
かれています。

臼内渓谷

ふるさと散歩

昭和59年

7月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 496

59

# さあ！インターハイだ 日程決まり秒読み態勢

本町の広域体育館を会場に開かれる全国高等学校総合体育大会（インターハイ）レスリング競技会まであと一週間あまりとなり、開催準備は最後の仕上げの段階に入っています。

競技会の日程や選手たちの宿舎はすでに決まっており、七月七日には広域体育馆で、試合の組み合わせ抽選会も行われ、大会ムードの盛り上がる中、五城目町実行委員会では、本番にむけて秒読み態勢に入りました。

五城目高校では、生徒の昇降口に「五城目のマットに燃えよ君の青春」と書かれた看板を掲げ、全校生が「一人一役」を合言葉に、ポスターの掲示や町内の清掃などを実行しています。また、バスケットボール部員、競技会でアナウンスやプログラミング保持などを務める補助員は、最後の練習に一生懸命です。

レスリング競技の日程は、八月一日から四日までの四日

間で、開会式は一日の午前九時から行われます。一日と二

人が学校対抗戦、地元五城目高校の三選手が出場する個人対抗戦は、三日と四日に行われます。

学校対抗戦の参加校は四十五校、個人対抗戦の選手をあわせると、六百四十七選手が

五城目町実行委員会では、五城目町バスターミナルと八郎潟駅前、大久保駅前、広域体育館前に案内所を設置して、選手や観覧者などの便宜を図ります。設置期間は、バスターミナルと八郎潟駅前が七月二十九日から八月五日まで、大久保駅前が七月三十一日まで、広域体育館前が八月五日まで、八月五日まで、広域体育館前

競技会期間中、レスリング関係者や一般観覧者など約二千人が、本町を訪れるものと見込まれています。このうち町実行委員会で宿舎の割り振りをした選手、役員、観察者、報道関係者などは九百九十九人で、本町をはじめ八郎潟町、飯田川町、昭和町、山本町の旅館やホテル、公共施設など十九カ所に宿泊します。

レスリング競技を八月四日

総合開会式は、七月三十一日、雄和町の県営陸上競技場で開かれ、各競技は八月一日

は随時、テレホンサービスで速報されます。

本町でのレスリング競技の模様は、八月四日午後五時から六時まで、NHK教育テレビで放送されます。また、NHKラジオ第一放送では、七月三十一日から八月七日まで午後六時十五分から十時、午後六時半からの放送となります。

五城目町（赤倉山荘、恋地山荘、保呂瀬温泉、鯉クラブ）

は、五城目町（赤倉山荘、恋地山荘、保呂瀬温泉、鯉クラブ）

、

五城目町（赤倉山荘、恋地山荘、保呂瀬温泉、鯉クラブ）

# 五高から二選手出場

## がんばります

△ 75Kg以上級

伊藤 司（新畠町）



総体ではとんどの人が、自分の力を発揮できず、五高からはインターハイに三人しか出場

できない。  
今まで、総体で優勝するためには、毎日練習してきたが、これからの目標は、自分のレスリングをして、絶対に一回戦は勝ち、二回戦、三回戦と進み、三人全員でインターハイ入賞をねらいたい。

△ 52Kg級

佐々木博文（恋地）



試合の相手との戦いの前に、減量との戦いがあり、苦しい他のレスラーたちも、みんなこうして苦しんでいる。試合の前の一つの戦いだと思って、それに打ち勝ち、インターハイもがんばりたいと思う。

汗がダラダラと流れてくる。「おれは何のために練習しているのだろう」と思う時がある。いつも決まってその答えは「勝つためだ」と己の声が言う。



梅雨が明けるともう夏。間もなく全国高校総体が開幕します。五城目町ではレスリング競技が行われます。この大会をぜひ成功させ、全国の選手たちに心に残る大会であるように、親切で真心のこもった歓迎をしようと生徒推進委員会を発足させ、活動をすすめています。

ヤツチフレーズ「五城目のマットに燃えよ君の青春」を昇降口に掲げ、町や五城目高校のピーナールと、この地に定着したレスリング競技を強調し選手を励ますとともに、全校生徒の意識高揚に努めています。

店頭に貼られているはずですあります。

校内での花の育成も順調に進み、小さな花をつけ始めました。毎日の手入れが勝負ですが、大会までにはもっと見事な花をつけ、選手を励ますことができるも

校内では「礼儀を正しく

生徒推進委員会では校内

道も大事な仕事の一つで、推進だよりの発行、大会終了後の特集号の編集計画も

あります。

（五城目高等学校教諭）

## 「一人一役」を合言葉に

五城目高校生徒推進委員会顧問 小玉紀子

のと思います。

一方、補助員の練習も始まっています。放送では言葉のなまりやくせに注意しつつ、さらに専門家の指導を受けるなど特訓中です。

（五城目高等学校教諭）

奥歯のかみあわせの溝は、汚れをかき出すようになります。奥歯のかみあわせの溝は、汚れをかき出すようになります。

歯と歯の間は、汚れがおちにくいので、いねいにみがきます。歯と歯ぐきの間は、歯ブラシをこぎざみに動かして振動を与えると汚れがとれます。また五城目町内、八郎湯潟町にポスター掲示のお願いに廻り、約百七十枚が各

運動を積極的に展開させています。五城目町親子の健康な歯づくり運動推進委員会

推進委員会で募集したキ

△ 歯みがきのはたらき

△ 歯みがき剤の使用は控えめに

△ 歯みがき剤の使用は

ます。

## 歯の健康シリーズ

No. 8

# 歯のみがき方



歯みがき剤はブラシの三分の一程度で十分です。歯みがき剤の使用をやめると、歯がだんだん色づいてきますが、三、四ヶ月続けると再び真っ白になります。でも心配はありません。

五城目町親子の健康な歯づくり運動推進委員会

養護部会







# 花苗3万本を定植

## 町内のみんなさんが植樹帶に

町内会をはじめ会社や団体職員のみなさんが、道路の植樹帯に花苗を植え付けてくれました。

花苗はサルビア、ベコニア、マリーゴールド、アフリカホーセンカの四品種で、雀館線や中央線、山手線などに6月いっぱい三万本が植え付けられました。

これは、町が進めている花いっぱい運動の一環として毎年行われているもの。今年は8月1日から全国高校総合体育大会のレスリング競技が、本町を会場にして開かれることもあり、町では町内のみんなのご協力に感謝しています。



中央線の植樹帯に花苗を植え付ける新畠町のみなさん



ゴミの多い所を重点的にそうじ（水沢町内付近）

# 町内の環境美化に一役

## 青年たちがクリーンアップ

最近、郷土の美化に対する意識が高まり、各団体や高校生などによる町内のクリーンアップが盛んに行われています。

馬場目青年会では、6月17日午前6時から同地域の馬場目川のクリーンアップを実施し、ゴミが多い個所や町内会などで清掃していない所を重点に行いました。会員たちは、「環境美化のためにも川にゴミを捨てないで欲しい」と訴えていました。

# お知らせ

## 消防設備士義務講習 受講しないと免状返納も

消防法の規定により消防設備士免状所有者に対する講習会が、次のとおり行われます。

### ▽講習対象者

①消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

②前項の講習を受けた日から五年以内の者

③消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

④消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑤消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑥消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑦消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑧消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑨消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑩消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑪消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑫消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑬消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑭消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑮消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑯消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑰消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑱消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑲消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

⑳消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉑消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉒消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉓消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉔消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉕消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉖消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉗消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉘消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉙消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉚消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉛消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉜消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉝消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉞消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

㉟消防設備士免状の交付を受けた日から二年以内の者で、義務講習を受けた日から

合は、消防法の規定により免状の返納を命じられることがあります。

## 少年の主張作文募集

中学生を対象に受講しないと免状返納も

県では、「少年の主張」の作文を募集しています。

応募資格 中学生

主題 学校、家庭、郷土、友人、仲間などとのかかわりの中で、日ごろ考えていること

応募方法 ①作品は未発表、自作のもの

②最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

③作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る

④作品は未発表、自作のもの

⑤最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

⑥作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る

⑦作品は未発表、自作のもの

⑧最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

⑨作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る

⑩作品は未発表、自作のもの

⑪最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

⑫作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る

⑬作品は未発表、自作のもの

⑭最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

⑮作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る

⑯作品は未発表、自作のもの

⑰最初に「題名」を書き、四百字詰原稿用紙三枚半程度

⑱作品と同じ大きさの別紙に住所、氏名、性別、生年月

日、学校名、学年を明記す

る



#### 全県制覇を成し遂げた富津内中卓球部

第三十三回全県中学校総合体育大会は、七日から三日間の日程で秋田市を会場に全県百三十八校から四千六百十七人が参加して行われました。

この大会で、五城目第一中学校のバスケットボール男子が堂々二年連続三度目の優勝を達成し、春の選抜大会での雪辱をはたすと同時に、全国制覇に向けさいさきのよいスタートをきりました。

また、富津内中学校の卓球男子は初戦こそ接戦となつたものの、その後は無難に勝ち進み、開校以来初めて全県優勝を成し遂げました。

剣道女子個人では、五城目一中同士の決勝戦が行われ、土橋朋子さんが優勝、小島さおりさんが準優勝となりました。

この大会で、五城目第一中学校のバスケットボール男子が堂々二年連続三度目の優勝を達成し、春の選抜大会での雪辱をはたすと同時に、全国制覇に向けさいさきのよいスタートをきりました。

校、東成瀬中学校と対戦し、ストレートで決勝トーナメントに進出しました。

決勝トーナメント一回戦の対矢島中学校とは、準決勝であたる大曲中学校に手の内を見せないため予選リーグの時と同じ選手編成で臨み、接戦の末勝利をものにしました。

続く準決勝の対大曲中学校戦は、選手編成をかえストレート勝ちし、その勢いで決勝戦に臨み、神代中を三対一で敗り優勝しました。

大会を振り返って、佐藤部長は「対大曲中学校戦の内容

全県優勝という学校創立以来の快挙を成し遂げた富津中学校卓球部は、今年で三年目の新しいチーム。春の全県大会で、大曲中学校に三対二の接戦で敗れており、その教訓を生かして本大会に臨みました。

全県優勝という学校創立以来の快挙を成し遂げた富津内中学校卓球部は、今年で三年

また、毎日の練習の結果を部員一人ひとりがノートに記入し、試合が近くなれば、上がつたり雰囲気に飲まれたりしないように、小中学校の先生全員に観戦してもらうなど、工夫をこらした練習方法を取り入れました。

はストレート勝ちですが、一番苦しい戦いでした」と話していました。

「子どもの持てる力を十分伸ばし、小さな学校ではなかなかできない、いろいろな事を経験させ、すべての面で伸ばしてやりたい」と語る先生たちはとともに、選手たちも七月三十一日から青森県で行われる東北大会に意欲を燃やしています。

また、市立体育館で行われたバスケットボール男子は、春の選抜大会での雪辱に燃える五城目一中が、終始あぶなげのない試合展開で二年連続三度目の優勝を飾り、目標である全国初制覇へ向け力強いスタートをきりました。

△ 同準決勝  
 富津内中 3—1 矢島中  
 △ 同決勝  
 富津内中 3—0 大曲中  
 △ 個人戦入賞者  
 三位 伊藤一仁(富津)  
 三位 伊藤恭二(富津)  
 △ バスケットボール  
 △ 男子二回戦  
 五城目一中 64—42 花輪  
 △ 同三回戦  
 五城目一中 50—39 浅舞  
 △ 同準決勝  
 五城目一中 65—39 大曲

A black and white photograph of a youth soccer team standing in two rows on a field at night. The team consists of approximately 20 players and a coach or manager on the far left. They are all wearing matching white short-sleeved jerseys with dark trim and dark shorts. The players are arranged in two horizontal rows, with the front row slightly crouched. The background features a building with vertical wooden siding and a chain-link fence. The ground appears to be a paved surface with some reflections from lights.

## 2連覇を達成した五一中チーム

△ 同準決勝 富津内中 3-1 矢島中

△ 同決勝 富津内中 3-0 大曲中

△ 同決勝 五城目中 3-1 神代中

△ 個人戦入賞者 三位 伊藤恭二(富津内中)

△ 同決勝 小島 (五城目一) (秋田北)

△ 同決勝 土橋 メコー 小島

△ 優勝 土橋朋子

・ 準優勝 小島さおり

△ 男子二回戦 五城目一中 64-42 花輪中

△ 同三回戦 五城目一中 50-39 浅舞中

△ 同準決勝 五城目一中 65-39 大曲中

△ 同決勝 五城目一中 68 (28-14) 43 六郷 中

△ 同個人総合 六位 畑沢博紀(五城目一中)

△ 同種目別跳馬 八位 館岡隆範(五城目一中)

△ 三位 畑沢博紀(五城目一中)

△ 陸上 △ 女子共通走り高跳び 四位 小林敬子 (五城目一中)

△ 剣道 △ 女子個人準決勝



# みんなの広場



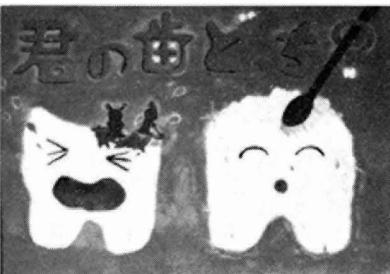
桜田瑞子（五城目小6年）



わしやともき（大川小2年）



石井昭治（馬場目小4年）



斎藤雄樹（五城目小5年）

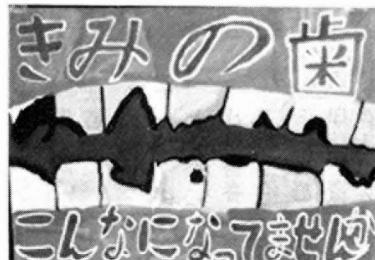
## ポスター優秀作品



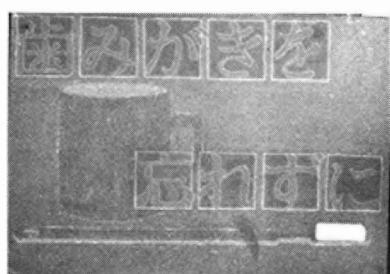
金沢さとし（杉沢小1年）



沢田石紀仁（内川小3年）



伊藤誠晃（富津内小5年）



一関みどり（五城目第一中2年）

〔ポスター〕  
審査委員長 小野 積  
(馬場目小学校教務主任)  
幼稚から中学生まで約三百  
点のポスターどれも、むし歯  
予防の気持ちがいっぱいにあ  
ふれ、熱心にかかれたすばら

## 健康な歯づくり運動 ポスター！・標語の審査評

〔標語〕  
標語主任審査員 本間末吉  
(内川小学校教頭)

五城目町全体に広がっていく  
ことでしょう。  
たくさん応募くださいました。  
ありがとうございました。  
家族ぐるみでつくりあげた作  
品や、学年なりの心がこめら  
れた作品が多く、この運動の  
ひろがりを深く感じました。

〔訂正〕  
広報「ごじょうめ」七月一  
日号に掲載しました入選者の  
お名前に誤りがありました。  
おわびして訂正します。  
標語特選の富津内小学校五  
年の伊藤静香は「友徳」、入  
選の大川小学校一年・しまざ  
きゆうこは「ゆきこ」、同じ  
く五年の木村史は「央」の誤  
りでした。  
(敬称略)

六月七日  
三万円 新町 石川末吉  
(亡母力子様の香典返しと  
して)

六月十一日  
八千二百七十三円  
御藏町 今村ハジメ  
(報労金を寄せしたもの)

六月十五日  
一万円 畑町 沢田石ワカ  
(亡夫薦様の香典返しとし  
て)

六月十八日  
五万円 新町 北嶋格一  
(亡妻篤子様の香典返しと  
して)

六月二十三日  
三万円 新畑町 近藤 勉  
(亡息子正栄様の香典返しと  
して)

預善意託銀者行  
(敬称略)

## 町の人口と世帯

### 7月1日現在

人 口	15,769 人	(-18)
(男)	7,545 人	(-1)
(女)	8,224 人	(-17)
世 帯	3,942 世帯	(+2)

\*(\*)内は前月との比較